

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名		各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	社会教育法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 36 年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期	未定 <input type="text" value=""/>
(小項目)		生涯学習				
施策	1	生涯学習の推進				
基本事業	1	学習活動の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 20歳以上の市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	各種学級に参加する市民が豊かな心を育み、生きがいを感じながら健康的に過ごすことを目的として、女性・成人・高齢者学級および公民館講座を開設する。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	各公民館長の協力の下、社会教育指導員と学級長が連携し、円滑な学級運営を行う。前年度に行った学級終了時のアンケート調査により、学級生の満足度や学習要望等を把握し、魅力ある学級開設に努め、地域の方々生きがいづくりの一助となるように学習内容の充実に努める。また、28年度も学級終了時のアンケート調査を実施し、次年度のさらなる学習内容の充実に努める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		学級学習の内容を有意義と思った割合	92.0	93.0	93.0	93.0	94.0	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	女性学級10、成人学級3、高齢者学級8を公民館や集会所などで開設し、社会教育指導員のコーディネートにより学級長を中心に自主的な学級運営を行った。学級生の満足度や学習要望等をアンケートなどで把握し、地域の方々生きがいづくりとなる学習を行った。また、子育て世代の女性を対象としたライフスタイル講座と鳴門市の貴重な知的財産である廻路文化等を学ぶ歴史講座を開設した。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 学級開設数	20	23	22	24	24	学級
	2 学級参加延人数	2,964	3,306	3,500	3,500	3,500	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	学級学習の内容を有意義と思った割合	84.3	92.7	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		99.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	517	517
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	517	517
		決算額	0	0	0	0	451	451
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.1	1.0	2,756		3,207		

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:各種学級(女性・成人・高齢者学級)開設事業】

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	402	451	483	483	483
	うち一般財源	402	451	483	483	483
	人件費	2,414	2,756	2,756	2,756	2,756
	総事業費	2,816	3,207	3,239	3,239	3,239

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		新たな受講生の参加を得られる公民館でのライフスタイル講座・歴史講座を開設することができ、受講生の満足度を高めることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		受講生のニーズに合わせた内容の講座を積極的に取り入れることができたが、ニーズ把握のためのアンケートの実施及び結果の反映の方法については引き続き検討が必要である。
②成果に対する評価	指標名	学級学習の内容を有意義と思った割合		受講生の高齢化や固定化の傾向があり新たな受講生の参加が少ない。
	目標	93.0	%	
	実績	92.7	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		参加者からのアンケート調査結果を引き続き学級運営に反映し、多様化・高度化する現代社会に対応するための学習機会の提供をおこなった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	1. 生涯学習人権課に非常勤嘱託として勤務する社会教育指導員が各種学級のコーディネーターとしてスムーズな運営が図られており、事業の安定した継続には社会教育指導員の資質によるところが大きい。引き続き、社会教育指導員の人材の確保、資質の向上が課題である。 2. 限られた予算の範囲内で、学級参加者のニーズに対応した学習内容に決定することが課題である。 3. 各種学級の開設は、特定の熱意ある学級リーダーに依存する傾向があり、新たなリーダーの育成が課題である。 4. 新たな受講生を増やすために、講座の構成や内容、周知広報の方法の検討を行う必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	各種学級の講座の構成や内容について検討をおこない、受講生のニーズに沿った講座の開設を計画する。また、新たな受講生の参加が期待できる講座の開設を維持するとともに、周知広報の方法についてもより多くの市民の関心を引くことができるよう工夫に努める。			
	H30年度	各種学級の講座の構成や内容について見直しをおこない、様々なニーズに対応できる講座の開設を検討する。			